

## 協働事業提案調整記録

事業名	4 . 高齢者、障害者、病弱者などの在宅生活を支援する事業
日 時	6月17日(木) 10時~11時10分
場 所	保健福祉センター501会議室
参加者 (敬称略)	<p>【提案者】NPO法人ワーカーズコレクティブ想(4名)</p> <p>【担当委員】宇津木、岡島</p> <p>【参加課】 高齢者福祉課(山崎)、障害福祉課(小池)、 医療健康課(菊地原)、児童育成課(柏木、豆塚)、 市民活動課(井東、鈴木、小山)</p>
主な内容	<p>提案者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・16年間の活動で蓄積したノウハウを活用し、地域に向けての啓発活動を行いたい。(例えば、ミニフォーラム形式)</li> <li>・全ての年代の市民を対象(赤ちゃんから高齢者まで)</li> <li>・既存の行政の事業には参加しており内容も承知しているが、不足している部分がある。(細かなニーズに対応していない、ソフトの部分の教室が不足している)</li> <li>・自らの活動経験を発表できる場があることは会員のやりがいにもなり、次の活動への意欲につながる。</li> </ul> <p>担当委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ、対象など具体的な内容で、ひとつひとつ段階を踏んでいく方が良いのではないか。</li> <li>・「想」でなければならないこと、協働事業でなければならないことをはっきりさせる必要がある。</li> </ul> <p>参加課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅支援センターを活用した介護予防教室などは既に実施している。</li> <li>・福祉部門は、現在対象者ごとに課が分かれており、テーマが明確でない中で、協働できることがあるかを検討することは難しい。</li> </ul> <p>市民活動課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案者の想いは理解できる。</li> <li>・行政との対話の中で企画をあたためる期間を取ったほうが良いと思う。無理に7月公開検討会までにまとめるのではなく想いを大事にしてほしい。</li> </ul>
確認事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 次の点に留意し、提案者が提案内容を検討しなおす。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを絞る(何を協働事業としたいのか)</li> <li>・企画をあたため、つめる(コンセプトをはっきりさせる)</li> </ul> </li> <li>* 調整については、再検討された提案内容により市民活動課が関連課を整理してから行う。</li> </ul>